

<専任教員報告>

2018 年度教員活動報告

吉田文彦 教授 (副センター長)

I. 教育

(1) 長崎大学での担当科目:

多文化社会学研究科 (修士課程) にて、第 1Q に「核軍縮と国際政治特講」、第 2Q に「核軍縮と国際政治特定演習」を担当。

(2) 国際基督教大学 (ICU) での担当科目:

クロスアポイントメント制度により、ICU 客員教授を兼務。三学期制をとる ICU では、春学期に「メディア研究入門」、秋学期に「Peace and Sustainability」(英語開講)、冬学期に「メディアと公共政策」を担当。

II. 研究

(1) 主要研究テーマ

- 核軍縮政策
- 核不拡散政策
- 核戦略と安全保障

(2) 著書・論文

- Edited by Joseph A. Camilleri, Michael Hamel-Green, Fumihiko Yoshida, "The 2017 Nuclear Ban Treaty: A New Path to Nuclear Disarmament", Routledge; 1 edition (November 6, 2018)
- 吉田文彦「『業の兵器』を『業の条約』でなくす」、山口響監修『核兵器禁止条約の時代』、法律文化社、2019年3月
- RECNA 編集、Taylor & Francis 社発行の学術誌 J-PAND (Journal for Peace and Nuclear Disarmament) の編集長。Volume 1 の Issue 1 (2018年5月) & 2 (2018年12月) を刊行。

(3) 学会誌寄稿、報告書、雑誌・新聞寄稿等

- Fumihiko Yoshida, "Japan Should Scrutinise the Credibility of the US Nuclear Umbrella: An Interview with Shigeru Ishiba", Journal for Peace and Nuclear Disarmament, Volume 1, Issue 2.
- Fumihiko Yoshida, "From the Reality of a Nuclear Umbrella to a World without

Nuclear Weapons: An Interview with Katsuya Okada” Journal for Peace and Nuclear Disarmament, Volume1, Issue 2.

- 吉田文彦「北東アジアでの新しい『平和の制度化』に向けて」、『米朝首脳会談の意義と今後の課題』、RECNA POLICY PAPER、2018年7月
- 朝日新聞のウェブコラム「吉田文彦の地球360度」に、「『核戦争に勝者ない』今こそ」。2018年8月6日
- 吉田文彦「核の『水平冷戦』と『垂直冷戦』」、『世界』、岩波書店、2019年1月号

(4) その他（学会発表、国際会議発表等）

- International Panel on Fissile Materials(IPFM)のソウルでの年次会合（2018年4月14～18日）にて、“Japan and Nuclear Armed Korea”をテーマにプレゼンテーション。
- “Exploring New Approaches to Arms control in the 21st century: Focusing on maintaining and expanding the integrity of the INF Treaty and Presidential Nuclear Initiatives (PNIs)”と題したワークショップに参加し、日本外交の視点からコメント。ノルウェー平和研究所等による共催で、開催地はオスロ。11月2日。
- “2019 Carnegie International Nuclear Policy Conference”（米国・ワシントンDC）に参加。ロシアのイワノフ元外相ら専門家へのインタビューを Facebook Live を通じてグローバルに発信。2019年3月11日～12日

### III. 社会貢献

(1) 一般向け講演、公開講座

- 「平和学習」のための講演会、長崎市立黒崎中学校にて、2018年5月22日
- 核軍縮・不拡散に関する現況分析を主題に、核兵器のない世界を目指す議員連盟主催の勉強会で講演、質疑応答。場所は東京・衆議院議員会館。6月13日
- 国際平和シンポジウム2018「核兵器廃絶への道」にてコーディネーター。場所は、長崎原爆資料館。7月28日
- 米国オバマ政権で核政策担当大統領特別補佐官をつとめたジョン・ウォルフスター氏による特別市民セミナー「“核なき世界“へどう進むか～核軍縮に逆行するトランプ核戦略～」でコーディネーター。長崎大学文教キャンパス。8月24日
- 北朝鮮情勢に詳しいパグウォッシュ会議評議員の政治学者、マーク・スー博士(韓国出身、ベルリン在住)による、報道機関のシニアライター・エディターを対象としたラウンドテーブルのコーディネーター。核兵器廃絶長崎連絡協議会主催。東京・内幸町にある日本記者クラブにて、11月9日
- 核兵器廃絶市民講座 第6回「核廃絶寸前 レイキャビク首脳会談の教訓」の講師。核兵器廃絶長崎連絡協議会主催、場所は長崎平和祈念館。2019年1月26日

(2) メディア対応

- 別添資料。

(3) 地域活動

- 長崎市原爆資料館運営委員会委員

(4) 連携事業

- 長崎大学とICUの包括連携協定と、ICUと長崎大学多文化社会学研究科の覚書策に向けたリエゾンを担当。2019年3月8日に協定、覚書の調印式、記者会見に出席。

(5) 外部委員

IV. 校務分掌